

むしむし探し隊 隊員大募集!

応募はこちら → <http://www.64tai.com>

ことしはセミを
大調査!

虫採る子に
僕は期待します

みんなでやれば、
大発見
まちがいなし!

むしにだって
環境問題がある。
調べてみよう



養老孟司先生

奥本大三郎先生

池田清彦先生

「むしむし探し隊」とは?

- ★「むしむし探し隊」は、日本全国の小学生が中心になって昆虫観察するプロジェクトです。
もちろん、ひろく自然や環境に関心のあるすべての人々が参加できます。なるべくたくさん参加してくださいね。
- ★「むしむし探し隊」は、日本全国規模で行う昆虫観察の結果を web ネットワークを使って集めます。
さて、みんなでやれば何がわかるか……おたのしみ!
- ★「むしむし探し隊」は、企業や団体からの寄付、協賛金で運営されます (NPO 化の手続きを申請中です)。
「寄付・ご協賛」についてはホームページをご覧ください。

<http://www.64tai.com>

「むしむし探し隊」事務局
〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3-11
望月ビル 6 階 株式会社デコ内
TEL: 03-3234-8570
FAX: 03-3234-8582

「むしむし探し隊」

—虫から考える。生命のこと、地球のこと、未来のこと—

虫探しは、子どもたちが自然と出会う最初の大冒険です。

かつての子どもは、虫探しから多くの事を感じ、学びました。

虫の種類や生態といった知識だけでなく、自然環境の仕組みや偉大さを感じ、

虫探しを創意工夫する向上心や「なぜだろう」「なんだろう」と好奇心を持つことができました。

虫探しは、子どもたちの無限の可能性をひろげます。

< 取組み目的 >

虫探しを通じて、次の3点をうながします。

- ・子どもたちの健やかな成長
- ・身近な環境問題への関心想起
- ・学術的価値のある全国規模の大調査

< 監修者紹介 >



養老孟司

解剖学者。元東京大学医学部名誉教授。2003年刊行の「バカの壁」は、流行語大賞を受賞した。箱根に別荘「養老昆虫館」(非公開)を所有、虫の標本を多数保管している。

好きな虫：ゾウムシ。



奥本大三郎

仏文学者。埼玉大学教養学部教授。日本昆虫協会会長。NPOアンリ・ファール会理事長を務め、ファールに関する資料を展示する「虫の詩人の館」を千駄木に設立。

好きな虫：チョウ、フンチュウ。



池田清彦

生物学者。早稲田大学国際教養学部教授。構造主義生物学の観点から様々な分野で著述を行ない、近年は「環境問題のウソ」など環境問題についての著作も多い。

好きな虫：カミキリ。

今年はセミを大調査！

「むしむし探し隊」では、時期ごとにテーマを設けて全国的な虫探し活動を展開します。

スタートとなる今年の夏は、「セミ」がテーマです。

身近でセミの鳴き声を確認し、その結果をレポートします。

たとえば、

- ・クマゼミはいつ、どこで鳴き始めるのか
- ・クマゼミは本当に東京で大量発生しているのか
- ・ニイニゼミが多く生息しているのはどの地域なのか など

これまで、全国規模の調査は、あまりなされてきませんでした。

全国で一斉に調査をすることで、今までわからなかった事実が明らかになるのです。きっと大発見があることでしょう。

今年は、ニイニゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシの6種類を調査します。

これらのセミに関しては、www.64tai.com 内の図鑑ページで、画像や鳴き声を調べることができます。



< 小学校関係者並びに小学生をお持ちの保護者のみなさまへ >

「むしむし探し隊」では、全国でいっしょに虫を調べてくれる参加者を募集しています。

チーム制(ひとり以上)での登録が原則となり、インターネットを通じてさまざまなやり取りができるようになっています。

本プロジェクトは、小学生の教育プログラムとして最適な取組みです。

具体的には、

- ・夏休みの自由研究や課題
- ・インターネット活用の実習
- ・総合学習の一課題

などでご活用いただけます。

ひとりでも多くの方にご参加いただき、楽しい充実したプログラムを実現していきたいと考えております。

小学校・クラス、親子、仲間での参加をお待ちしております。

参加を希望される方は、専用ホームページ (<http://www.64tai.com>) をご覧ください。

参加することで

- ・全国から参加した小学生と交流を持つことができます。
- ・虫の事がいろいろわかり、子供たちの好奇心、向上心を高めます。
- ・虫を調べることで身近で起こっている環境問題に気付くことが出来ます。

ご不明な点がございましたら、ホームページをご参照の上、むしむし探し隊事務局までご連絡ください。

「むしむし探し隊」事務局 (NPO 法人申請手続き中)



〒101-0051 千代田区神田神保町 3-11 望月ビル 6 階 株式会社デコ内

TEL:03-3234-8570 / FAX:03-3234-8582

<http://www.64tai.com>

「むしむし探し隊」

—虫から考える。生命のこと、地球のこと、未来のこと—

虫探しは、子どもたちが自然と出会う最初の大冒険です。

かつての子どもは、虫探しから多くの事を感じ、学びました。

虫の種類や生態といった知識だけでなく、自然環境の仕組みや偉大さを感じ、

虫探しを創意工夫する向上心や「なぜだろう」「なんだろう」と好奇心を持つことができました。

虫探しは、子どもたちの無限の可能性をひろげます。

< 取組み目的 >

虫探しを通じて、次の3点をうながします。

- ・子どもたちの健やかな成長
- ・身近な環境問題への関心想起
- ・学術的価値のある全国規模の大調査

< 監修者紹介 >



荒井 健二

解剖学者。元東京大学医学部名誉教授。2003年刊行の「バカの壁」は、流行語大賞を受賞した。雑誌に別荘「養老昆虫館」(非公開)を所有、虫の標本を多数保管している。
好きな虫：ゾウムシ。



奥本 大三郎

仏文学者。埼玉大学教養学部教授、日本昆虫協会会長、NPOアンリ・ファーブル会理事長を務め、ファーブルに関する資料を展示する「虫の詩人の館」を千駄木に設立。
好きな虫：チョウ、フンチュウ。



池田 清彦

生物学者。早稲田大学国際教養学部教授。構造主義生物学の観点から様々な分野で著述を行ない、近年は「環境問題のウソ」など環境問題についての著作も多い。
好きな虫：カミキリ。

今年はセミを大調査！

「むしむし探し隊」では、時期ごとにテーマを設けて全国的な虫探し活動を展開します。

スタートとなる今年の夏は、「セミ」がテーマです。

身近でセミの鳴き声を確認し、その結果をレポートします。

たとえば、

- ・クマゼミはいつ、どこで鳴き始めるのか
- ・クマゼミは本当に東京で大量発生しているのか
- ・ニイニゼミが多く生息しているのはどの地域なのか など

これまで、全国規模の調査は、あまりなされてきませんでした。

全国で一斉に調査をすることで、今までわからなかった事実が明らかになるのです。きっと大発見があることでしょう。

今年は、ニイニゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシの6種類を調査します。

これらのセミに関しては、www.64tai.com 内の図鑑ページで、画像や鳴き声を調べることができます。



《企業、団体のみなさまへ》

「むしむし探し隊」では、プロジェクトの趣旨に賛同していただき、協賛いただける企業や団体の募集を広く行っております。

本プロジェクトは、社会貢献プログラムとしてご利用いただけます。

具体的には次のような取り組みとして、企業のステークホルダーにアピールすることができます。

環境

- ・身近な環境問題への意識向上
- ・環境維持活動への取り組み

教育

- ・次世代教育への積極的な取り組み
- ・学術的調査への取り組み

社会

- ・地域社会との共生
- ・子どもが豊かに生きる社会への取り組み

協賛としての参加にご興味のある企業様は、むしむし探し隊運営事務局までご連絡ください。

1社でも多くの企業様にご参加いただき、充実したプログラムを実現していきたいと考えております。

ご不明な点がございましたら、ホームページをご参照の上、むしむし探し隊事務局までご連絡ください。

「むしむし探し隊」事務局 (NPO 法人申請手続き中)



〒101-0051 千代田区神田神保町3-11 望月ビル6階 株式会社デコ内

TEL:03-3234-8570 / FAX:03-3234-8582

<http://www.64tai.com>